

黄色のごみ袋によるカラス対策について

1. 黄色のごみ袋の実証実験、導入（検討）している主な自治体とその現状

実証実験を実施または黄色のごみ袋を導入している主な自治体は以下のとおりである。
各地で実証実験が実施されており、その後導入している自治体も見られる。

自治体名	実証期間	実証実験	効果	導入状況	導入時期	備考
大阪府 池田市	不明	不明	×	燃えるごみを黄色の指定袋へ	2006年4月	導入後効果見られず。 (近紫外線を阻害する顔料入りではなかった。)
兵庫県 芦屋市	2007年3月	市内16箇所で2,000枚(特殊加工)を使用。被害は1%未満。	○	なし	—	色・指定ごみ袋なし
京都府 京都市	不明	不明	—	燃えるごみを黄色の半透明指定袋へ	2006年10月	カラスネットの無料貸し出し有。
三重県 松阪市	不明	不明	—	燃えるごみを黄色の指定袋へ	2011年4月	
北海道 恵庭市	2010年10～12月	14地区(8,323世帯)で複数回実施。旧指定袋よりカラス対策ごみ袋の方が被害確率で約1/3程度、被害箇所率で1/6程度に被害が減少した。措置を講じていなくてもルールどおりに排出した場合には被害減少の確認がされた。ごみを排出する際にネットや籠を使うことで、より一層被害率が低下した。	○	台所ごみを黄色の指定袋へ	2010年4月	
青森県 青森市	2006年7～10月	9箇所(220世帯)で実施。同市指定の青色半透明袋より黄色い袋の方が被害の割合が高い地区もあり、明確な効果は確認できなかった。	×	なし	—	燃えるごみを指定袋は青色半透明
岩手県 盛岡市	2006年3～4月	透明なごみ袋+カラスよけネットと、黄色いごみ袋との比較で行い、一部では、透明なごみ袋のみも実施。ネットありの地区で、黄色いごみ袋(ネットなし)は0.41%、透明なごみ袋+ネットは1.33%の被害。ネットなしの地区で、黄色いごみ袋に被害なし、透明なごみ袋は2.94%の被害があった。黄色ごみ袋はカラス対策に一定の効果があるとの結果が出た。	○	なし	—	可燃ごみ(透明・半透明の袋)
新潟県 三条市	2005年度	数種類の黄色いごみ袋を試みたが、効果は認められなかった。	×	なし	—	指定ごみ袋は白色
東京都 杉並区	①2004年8～9月、②2005年2～8月	①1,300世帯、②170箇所、約1,300世帯で実施。①では黄色い袋のみ、従来の推奨袋のみ、混合の3種類で調査。黄色い袋の被害はなかった。②定点観測(9箇所)では26%の被害を確認した。猫の可能性もあるため、集中調査を実施した結果、6%という結果が得られた。	○	黄色半透明ごみ袋(推奨)	2005年10月	
東京都 品川区	2006年度	モニター調査を実施。一定の効果がある(環境により効果は異なる)と判断。	○	黄色の「カラス対策ごみ袋」推奨	不明	
神奈川県 藤沢市	不明	一般的なポリ袋と可燃ごみ専用袋に餌を入れ、カラスの捕食率を観察した結果、一般的な袋が76%から94%に対し、可燃ごみ専用袋が6%から24%という結果が出た。	○	可燃ごみは黄色の指定袋	2007年	
鳥取県 米子市	2006年6～7月	市推奨袋と黄色いごみ袋の混合集積(6箇所)と黄色いごみ袋の限定集積(3箇所)を実施。混合集積のうち5箇所です市推奨袋のみ、1箇所です黄色いごみ袋にも被害が見られた。黄色いごみ袋に限定した集積場所では被害がなく、カラスの姿が見えなくなったという声もあり一定の効果が見られたと判断している。	○	なし	—	指定袋は透明
大分県 臼杵市	不明	収集日に屋根の上でごみを出すのを待っているカラスの姿がなくなった、夏を過ぎてもカラスがごみを荒らしているという苦情がないとの意見があった。	○	もやせるゴミは黄色の指定袋	2005年3月	

2. 実証実験を行った自治体と効果

実験方法が各自治体で違うため、効果についても幅がみられる。黄色のごみ袋が有効であるというはっきりした結果は得られていない。なお、カラス対策用の黄色のごみ袋は特殊な顔料が必要なため、製造コストが通常のおよそ2倍以上かかる。そのため、導入を見送っている自治体もある。

青森市

検証回数	袋の種類	ごみ袋数	被害数(%)	被害箇所	被害回数	被害なし
合計 9箇所	黄色い袋	3,854袋	62袋 (1.6%)	5/9箇所	18/219回	4箇所
	透明袋	9,516袋	131袋 (1.4%)	8/9箇所	56/219回	1箇所

盛岡市

検証回数	袋の種類	ごみ袋数	被害数(%)	被害箇所	被害回数	被害なし
合計 57箇所 459回	黄色い袋	5,803袋	21袋 (0.36%)	9箇所	15回	48箇所
	透明袋	14,376袋	164袋 (1.14%)	31箇所	91回	26箇所

藤沢市

検証回数	袋の種類	総飛来したカラス数	捕食された餌の数	飛来数比較	捕食数比較
合計 30箇所	加工あり袋	504	1,889	51羽 (10.1%)	94個 (4.98%)
	加工なし袋			453羽 (89.8%)	1,795個 (95.02%)

米子市(2006年6~7月)

検証回数	袋の種類	ごみ袋数	被害数(%)	被害箇所
混合集積 6箇所	黄色い袋	887袋	6袋 (0.68%)	2/6箇所
	通常袋	3,736袋	26袋 (0.7%)	5/6箇所
限定集積 6箇所	黄色い袋	986袋	0袋 (0.00%)	3/3箇所

※恵庭市の資料から作成。